

## 分科会 6 概要報告書

分科会名	分科会 6 児童養護施設の子どもたちの自立を応援しよう！～タイガーマスク基金の今後～		
実施日	平成 24 年 2 月 18 日 (土)	実施時間	9 : 30 - 12 : 00
会場	叡山 1. 2	参加人数	32 人
登壇者	パネリスト：大久保和久（児童養護施設湘南学園施設長） 高祖常子（特定非営利活動法人児童虐待防止全国ネットワーク理事） 高橋祥彦（ファザーリング・ジャパンタイガーマスク基金リーダー） コーディネーター：久留島太郎（ファザーリング・ジャパン理事）		

### 概要報告書

- 久留島氏より、タイガーマスク基金について概要説明
  - ・ロゴは基金の目的を理解していただき、作者側より許可を得て使わせてもらっている
  - ・経済支援と啓発支援の 2 本柱で活動しており、大学進学率 13%といわれる施設入所児への支援（一般家庭は 56%）を行っている
- 久留島氏のコーディネートによる、3 名のパネリストからの報告
 

(大久保)

  - ・現在 3 万人近い入所児がおり、入所前に虐待を受けたことのある子どもが 53.4%。この内 7%はネグレクト
  - ・障害等のある児童も増加しており（約 23.4%）うち約半数は発達障害
  - ・退所児の課題として、高校卒業後の進学率が低く進学しても約半数が中退している。資金面、人格形成、バックアップ等が必要

(高橋)

  - ・ブリッジフォースマイルの取組について説明
  - ・退所児童への支援、以下の 4 つについて説明
    - ① 巣立ちプロジェクト→施設退所後の一人暮らしに備えるセミナー
    - ② アトモプロジェクト→巣立ちプロジェクトに参加した子どもたちが退所した後もサポート
    - ③ スマイリングプロジェクト→退所者が安く家を借りられる（シェアハウス）ようサポート
    - ④ 奨学金支援プログラム「カナエール」→進学者の高い中退率を防止するため、夢をスピーチしてサポートを受けるプログラム

(高祖)

  - ・オレンジリボンの概要について説明
  - ・児童虐待は増えており、5 万 5 000 件を超える（被災地 3 県の数値を含めていない）
  - ・死亡事例では 6 割が 0 歳児。加害者の約半数が母親
  - ・防止のためには、パパ力によるところが大きい
  - ・出来るところから始めていくことが必要

<まとめ>

施設、NPO 等で連携していくことが大切。入所時だけでなく退所後のサポートも！

### 備考

- ・パネリストの中にも、こういう場で話ができて、また他の活動を聞かせてもらって良かった、という意見があった。
- ・質問において「タネを蒔かない取り組み」が必要との意見が出た。